



# 森のなかま

2018年1月号

NO. 117 (継続262号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

## 『明けましておめでとうございます』

&lt;理事長 久保 重明 8期&gt;

皆様におかれましてはよいお年をお迎えのことと思います。昨年は、天候不順が続き中止になった活動も数多くあり、やきもきされたこともあったかと思えます。しかし全体的に見て皆様のご努力もあって大過なく1年を終えることができました。

さて、昨年には明るい話が2つありました。その1つは平成28年7月末に15期生の面接試験があり、38名が合格し1年2ヶ月余りの研修を経て、11月25日に終了式を迎えました。1名を除いて晴れて37名の方が神奈川県森林インストラクターとして県知事認定を受け、我々の新しい仲間に加わりました。会としては心から歓迎すると共に今後、多くの活動への参加を期待しております。

もう1つのうれしい話は、会のホームページ(HP)が一般社団法人全国林業改良普及協会の第51回林業関係広報コンクール HP部門で最優秀賞(林野庁長官賞)を頂いたことです。

高く評価された点は、外注せず内部で制作・更新し、更新頻度も高く、ブログ、フェイスブック、ツイッターを併用していること、森林に関する知識や技術の情報の充実、過去の活動内容(会誌:森のなかま)まで掲載し、アーカイブとしての役割も果たしていることなどです。授賞式は5月26日東京都港区の三会堂ビル石垣記念ホールで行われた同協会の平成29年度通常総会の開催直前に執り行われました。会からは、井出 HP担当者、松本広報部長、福島事務局長、久保が参加致しました。その折、表彰状と副賞として高級コンパクトデジタルカメラを頂き、カメラはその後の広報部の取材に大いに活用させて頂いております。

今年もいろいろなことがあると思いますが、皆様と力を合わせ明るい年にしましょう。

富士の拡大



(厚木基地隣接の大和ゆとりの森公園から 2017.12.14.AM7:00)

『住友三井オートサービス～SMASの森～  
の開所式が行われました』

開催日:2017年11月3日(金祝) 参加者:55名 天候:快晴

< 住友三井オートサービス～SMASの森～事業部長 松永 廣 (理事) 11期 >

南足柄市広町地内に約3ha 個人所有林に「住友三井オートサービス～SMASの森～」が開設されました。住友三井オートサービス株式会社創立10周年事業のひとつとして実地されるものです。

森林整備、自然観察などを通じて、CO<sub>2</sub>の削減、生物多様性、自然の中でのストレス解消などに繋げていきたいと考えます。

11月3日文化の日は晴れの特異日とされる日で、2日前までは雨の予報が出ていましたが、前日に晴れ予報に代わり、当日も快晴の天気で開催者 55 名全員が気持ちよく開所式を迎えることが出来ました。場所は丸太の森から明神林道を登った、針葉樹と広葉樹のミックスした理想的な場所です。

看板除幕式



集合写真



自然観察中



植樹中



明神林道からの入口の看板除幕式と一連の式典を無事すまして、植樹会場まで3グループに別れて自然観察を実施しました。シロヨメナの白い花、サルトリイバラの赤い果実、シオデの黒い果実、クサギの深紅の萼と藍色の果実のコントラスト、怪しげなヤマト리카ブトの青紫の花、と秋の山を満喫すると植樹会場に到着です。

紅葉がきれいなイロハモミジ、花がきれいなヤマザクラ、いい匂いのするコブシと3本の植樹をしました。

アオキ除伐作業



午後は参加者全員で広場にする場所のアオキの除伐作業です。初めて山作業をする人もいてノコギリの使い方、剪定ハサミの使い方を説明したあと準備体操をして作業開始です。

自然観察と同じ3グループに別れての作業にみなさん懸命に取り組み、1時間余りで広場予定地はきれいに片付き、いい汗を流したと思います。さわやかで気分のいい秋の一日でした。

この日に見られた主な 花と果実

シロヨメナの花



サルトリイバラの果実



シオデの果実



クサギの萼と果実



ヤマト리카ブトの花



森林部会 平成29年度『間伐研修会②』

日時:平成29年11月12日(日)8:30~16:00 晴れ 場所:湯河原町鍛冶屋町有林(日本触媒万葉の森)

< 森林部会 斉藤 夏葉 13期 >

(写真&キャプション 飯澤 恒 9期)

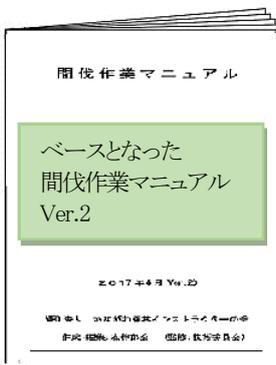
◆ 森林部会 平成29年度 間伐研修会②に参加して

研修会参加にあたり、2017年4月に改訂された「間伐作業マニュアル Ver.2」を事前に読みました。Ver.1 よりもイラストや写真が増え、より理解しやすくなっています。

対象木は35年生のヒノキで胸高直径20cm以上。当日は研修会開始にあたり、石川講師(12期)より激励の言葉をいただきました。「参加者に満足していただくには、安全に活動をする事、時間配分が大事です。間伐は、選木から筋書きが始まって、倒す方向を決め、正確な受け口をつくる事が最も重要な工程です。筋書き通りにいかず、予期しないことが起きた時、道具と自分の経験でそれをしのいでいかないとはいけません。そのためにはインストラクターは自ら伐れてなんぼ、ロープを引くこともできなければいけません。今日は少しでも何かを得て帰ってください。」

今回の研修会では、間伐における各工程で、危険要素や対処方法について自ら考え、班員全員で協議し実行しました。選木、伐倒方向の決定では班員同士で時間をかけて意見交換をしました。ロープ掛けはスローラインも使用してみましたが、思ったところに投げられなかったり、掛かった枝が枯れていて折れてしまいやり直したりと苦戦しました。掛かり木処理でも、ロープを引く方向を変えてみたり、ツルを細くしてフェリングレバーで木を回転させてみたり、メンバーと対応方法を考え実行しました。ここで感じたことは、ロープを引く時一人は状況を見て指示することが有効であり、インストラクターが、安全かつ的確な指示を出すことが重要であるということでした。

研修会を通して自身の技術と体力の課題も認識しました。参加者から信頼されるインストラクターを目指して、今後とも様々な活動に参加し、心技体の向上に努めようと強く思う所存です。



講師：石川⑫、岩田⑭、木村⑭、立花⑭  
 スタッフ：滝澤⑤、辻村⑨ 飯澤⑨  
 参加者：菊地①、國分③、福島⑨、水口⑨、真貝⑪、山口⑪、吉田⑪、西出⑫、斉藤⑬、菌田⑬、武井⑬、古舘⑬、焼尾⑬、黒川⑭、鈴木⑭

①この木の重心は？



②伐倒方向は？



③スローライン上手に掛かるかな？



④台付の位置と掛け方の確認



⑤ブルージックの練習



⑥ブルージックを使った3倍力



⑦掛かり木の回転方向を考えて



⑧フェリングレバーで木を回転



⑨伐倒木の方向とつるの検証



⑩仕上げの玉切り、枝払い



普及啓発部会 平成29年度『研修会 木育活動実習』

日時:平成29年12月2日(土) 10:00~14:00 晴れ

場所:やどりき水源林集会棟

参加者:井出①、高橋③、足立④、森本⑤、松本⑩

最近注目されてきている、木に触れ、木を使い、木に学ぶ「木育」について勉強し、実習として木を使った動物などの模型を組み立ててみました。(説明文は英語か中国語で詳細理解は??もそこは百戦錬磨の皆さんと言いたいところですが、さすがにこの時期は寒く手先が痺み気味で作業は少し苦戦しました。)

実習要領のミーティング



完成 一部の勢ぞろいです



組み立て作業 (細かいので悪戦苦闘)



チョウ 蝶 butterfly



カマキリ 螳螂 mantis



クモ 蜘蛛 spider



こんなものも 歩くマンモス mannmoth 動力搭載です



打ち抜き型

組立完成



(写真撮影 & キャプション 松本(普及啓発&広報 部)

森林文化部会研修会 『インストラクター技能向上のための研修会 ミニ門松作り』

日時:平成29年12月17日(日) 9:00~12:00 晴れ

場所:戸川公園 パークセンター2F

<森林文化部会長 真貝 勝 11期> (写真撮影:赤崎⑫)

講師:宮下 啓一氏⑫ 取り纏め:赤崎氏⑫(森林文化部会運営委員)

参加者:井出①、菊地①、白畑⑦、内野⑨、高橋⑨、小笠原⑩、真貝⑪、佐藤(義)⑪ 山崎⑫、内田⑬、稲野辺⑬、古舘⑬、星野⑬、手島⑭、牧石⑭、藤井(敏)⑭、藤井(世)⑭

講師に宮下氏⑫を迎え、ミニ門松作りが行われた。参加者は 18 名。ミニ門松作りの前に“男結び”というヒモ結びの説明を受け、苦戦しながらの完成品が集合写真の作品である。

講師の宮下氏による 男結びの説明と実技



苦戦しながらの作業



完成品を手にした参加者



## 活動短信

今回の掲載は平成29年10/2～10/27です。  
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラストより

**水始涸** 10/3～10/7 頃  
みずはじめてかる  
田の水を干し始める  
第四十八候 秋分 未侯



**霜始降** 10/23～10/27 頃  
しもはじめてふる  
霜が初めて降りる  
第五十二候 霜降 初侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明  
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。

写真もあれば1枚添付ください。

## ◆ 活動団体・活動名 等

日付(できれば時間と天気も)

場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参加者 人数

神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字:期) 研:研修枠

以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

\*\*活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。\*\*

## ◆ 相模原市立 内郷小学校

## 事前授業 森林の働き、間伐等

日 H29年10月2日(月)9:45～10:30、曇り

場 相模原市緑区寸沢嵐 内郷小学校

参 小学5年生 担任教師及び生徒14名

イ ⑦小野

10月12日にやませみにて実施予定の間伐研修に関する事前授業。9月20日に講話内容について学校を訪問し担任教師と協議、その内容に沿って進めた。

最初は「森林のはたらき」についての発言を求め黒板とPCを適宜使いながら補足説明・解説からスタートしたが、的確な発言が多く臨時教師小野もビックリ。

終始留意した点は、〈私の話〉が一方通行にならない様、質問を求めながら生徒の発言による対話を心掛けた。森林を作り育てる50年以上の長いサイクル・日本の林業の問題等を解説した後、間伐について伐倒木・スリング

木・引っ張り方向の配置の平面図、受け口・追い口の側面図を黒板に図示して説明。

最後に間伐は大変危険な作業なので「怪我をしない」事が最優先だが同時に「自然をいっぱい楽しんで下さい」とお願いした。拙い教師役ながら担任教師の適切な側面援助も頂き短い45分でした。当校は100年を超す歴史を持つが現在は100人規模の生徒数ながら生徒たちが終始礼儀正しく熱心に聞き発言し、日頃の先生方のよき薫陶が伺える素晴らしい学校でした。

(記 小野 幸広 ⑦)

## ◆ 県民参加の森林づくり活動

## (植栽)

日 H29年10月4日(水)、曇り

場 足柄下郡箱根町仙石原(町有林)

参 68名

財 豊丸課長 鳥海様 看 小林様

イ L大道⑥、友谷①、堀江④、宮本④、滝澤⑤、内野⑨  
村井⑨、杉崎⑩、橋本⑩、加藤⑫、澤村⑫、渡辺⑫  
藤代⑬、古舘⑬、星野⑬、羽鳥⑭

雨空の回復が遅れているが、今日は小雨決行、温泉付きの植樹活動である。参加者は班毎に5台のバスで目的地へ出発。移動中山間部に入ると雨脚が強くなり活動スケジュールに影響されないか心配された。

しかし目的地到着頃に雨は止み、スケジュールに沿って活動は進められる。広場でオリエンテーションを済ませ植栽地迄約30分徒歩で移動。

現場では区割りエリア毎に配られた用具の確認、身支度を整え作業開始。植栽に先立ち4種の苗木「ヤマザクラ・ヤマボウシ・ヒメシャラ・イロハモミジ」、及び「ポット苗・コンテナ苗・根巻苗」の扱い等の説明と共に植栽デモンストラーションが行われ植栽作業に移る。

植栽地の地形は一部谷筋を含むものの全体的に緩やかな傾斜地で作業性は良い。各班140株、合計700株を約2時間かけてすべて植え終えた。数年後には箱根の山を彩ってくれることを楽しみに現場を後にする。

昼食は箱根高原ホテルに場所を移し、またホテルのご厚意による入浴で汗を流し一日の活動を終え帰路に就く。

最後に参加者の声として「楽しかった、植え足りなかった」等、十分満足された様子が報告された。

(記 大道 辰夫 ⑥)

## ◆ 相模原市立 津久井中央小学校

## 間伐体験

日 H29年10月10日(火)8:45~13:30、晴れ

場 相模原市緑区

ふじの体験の森 やませみ 大日野原の森林

参 小学5年生25名、教師4名

スタッフ やませみ職員4名

イ L内野⑨、佐藤⑤、小野⑦、渡部⑦

やませみ体験学習の一つとして森林の間伐体験をおこないました。体験をより充実させるため、事前授業を10月3日に受けた児童たちは、期待が高まっているようでした。『間伐は危険を伴う作業なので、インストラクターの指示に従うこと』の注意を再度確認して始めました。

3班のうちA、C班はヒノキ、B班はスギでいずれも22~23年生です。安全確認、伐倒方向、ロープ掛け、受け口、追い口など丁寧に説明をしながら作業を進め、鋸の使い方の指導もおこない、かかり木になった班もありましたが、無事に伐倒できました。児童たちは、事前授業を覚えていて、木を伐る感触を味わい、伐倒後の樹冠の開きを確認して間伐の意義を理解したようです。

枝払い、玉切り(2m)、各自のコースターづくりをおこなって、各班2本ずつ玉切りした丸太を昼食場所の軽トラまで運びながら移動し、班ごとに原っぱでお弁当を食べました。周囲の景色を見ながら森林の違いなどを確認し、やませみに戻ってからのグループミーティングでも森林や自然に関心を示して多くの質問がありました。

晴天に恵まれて、予定の活動を時間内に終了しました。事前授業では、『5年生はこれから林業を学ぶので、神奈川県のエコ林業の話を知りたい』と要望をいただき、資料を追加して話をしました。間伐という貴重な体験をして、より理解が深まり林業の授業に役立つことを期待します。

(記 内野 ミドリ ⑨)

## ◆ 相模原市立 内郷小学校

## 間伐体験

日 H29年10月12日(木)9:50~13:30、晴れ

場 相模原市緑区澤井 大日野原地区

参 副校長、担任教師と小学5年生14名

スタッフ やませみ職員3名 看護師1名

イ L小野⑦、佐藤⑤、内野⑨

予報では午後から雨模様とのことで計画どおりの実施が

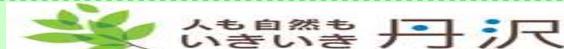
懸念されたが当日は好天で樹林内は涼しかったが、昼食場所の原っぱは夏空でした。

5年生14名の小規模学校で、7人2班編成で各一本を伐倒したが大径木で樹高も高く伐倒時は枝を巻き落としながらの大きな地響きで生徒たちから大歓声が上がった。ロープ引きでは学校で取り決めた?「みんなで力を合わせて」の合言葉どおり小人数ながらここの一番で力を結集し見事な伐倒劇でした。

昼食時と最後のグループミーティングでは各インストラクターが夫々持ち味を生かした進め方で生徒さん達の発言も適宜引き出しながらの講話で締めくくった。これは3学期に予定の<社会科 森林について>の授業の中で生かされることでしょう。

対象木が小学生にはやや厳しい大きさでしたが関係者の手助けも頂きながらも生徒全員の頑張りでも無事時間内に終了出来たことが何よりでした。

(記 小野 幸広 ⑦)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

## ◆ 横浜市立 綱島東小学校

## 愛川宿泊体験学習 中津川自然観察

日 H29年10月13日(金)9:00~12:30、曇り時々雨

場 愛甲郡愛川町 愛川ふれあいの村⇄中津川河原

参 小学5年生92名 教師等9名 計101名

イ L足立④、井出①、斎藤⑥、渡部⑦、松本洋子⑧、谷川⑩、松本保⑩、永松⑫、松石⑬

雨天となったので宮ヶ瀬ダム放流等の見学学習予定等をやめ、中津川河原で川の流水実験と観察に集中となった。川に出かける前に、井出さんが愛川ふれあいの村講堂で事前教室授業を行った。

バスで愛川繊維会館駐車場にバス移動し、すぐ側の中津川河原に徒歩移動し、川での実験をおこなった。

実験はペットボトルを投入してカーブの外側と内側の流れの速さを観測した。ガケ側は谷川さんが釣り竿で、川原側は井出さんが手で、夫々ペットボトルをヨーイドンで投入し流れの速さを実証した。鶴見川の変化のない川しか知らない生徒たちにはインパクトがありとてもよく理解できたの

ではないだろうか！ また、実験板に大中小の石を載せて川に入れ、小さいほど流れ易いことを実証する実験は、その時雨が強く降ってきたので、中止にした。

次に班毎に実験を行った地点で地形(外側崖、内側河原)、水深(色の違い等)、石の大きさや形、水辺の様子等



説明し、その後徒歩で移動し、橋の上と対岸で魚道や堤防などの施設などを観察しながら、解説した。

昼食は愛川ふれあいの村に戻って一緒に食べ、生徒たちの質問を受け答えた。

児童たちは熱心に我々の説明を聞いてくれ、各組の代表の子が感想を述べたが、中にはいままで遭遇したことがないような立派な感想を述べた子がいてとても感心した。学校側と協議した結果、我々はあいかわ公園・宮ヶ瀬ダムには同行せず、そこで反省会を行い解散した。

(記 松本 保 ⑪)

#### ◆ 回胴式遊技機商業協同組合 下草刈り

日 H29年10月14日(土)11:00~13:00、曇り

場 足柄上郡松田町 やどりき水源林

参 89名

県 中田 様

イ L森本⑤、永野⑥、伊藤⑦、小沢⑨、大原⑬

パチンコ・パチスロの組合で、環境保全の一環としての社会貢献活動を展開。

元々、雨天決行の設定先で、渡河のためのアルミ橋(建築用の足場板/ふれあい緑化事業助成金にて手当)も効果を発揮。時短のオペレーションで無事に下刈りを完了出来た。

恒例の緑の募金に関しても、この場を借りて深謝を申しあげたい。

H19年に広葉樹を植栽して10年が経過し、次の新メニューでいじ提示が必要な時期となっている。神奈川県

林再生パートナーなど、新たな社会貢献手法のご提案をしていきたいと思いました。

(当日の様子は、回胴遊商様のHPでも公開中。)

(記 森本 正信 ⑤)

集合写真(回胴式遊技機商業協同組合ホームページより)



#### ◆ 横浜市立すみれが丘小学校

##### 宿泊体験学習

日 H29年10月16日(月)13:50~17:10、雨

場 南足柄市 足柄ふれあいの村

参 小学校5年生79名(含む引率教師7名:ボランティア3名)

イ L宮本④、井出①、堀江④、白畑⑦、杉崎⑩、谷川⑪

秋の前線が停滞する中、雨は小降りになるものの止まず、学校側の要請を受けて、ふれあいの村での自然観察とスコアオリエンテーリングを実施した。

自然観察は、村内のコースを二手に分けてインストラクターが先導した。

子どもたちは、途中で草木の様子や小動物を見つけるのとビンゴシートに書き入れて確認したりインストラクターの説明を聞いたりしながら、前半の45分を回った。

後半は、村内の地図に書き入れてある、木の名まえを調べるとともに、教師やインストラクターが提示した問題を解いて回った。最後に問題の解答と観察会のまとめの話で締めくくった。グループでの行動、走らない、時間を見ながらゆとりをもって行動するなどの約束がよく守られていたので、全体を通してのヒヤリハットにつながる事案はなかった。今回の活動においては、学校との綿密な連絡や連携、下見の時の判断などがよくいかされていたので子どもたちの達成感も大きかったようである。終了後、各担当で今後の留意点や改善点、さらなる工夫について話しあ

いを持った。

(記 谷川 克 ⑪)

#### ◆ 株式会社カナエル

##### 森林再生パートナー活動

日 H29年10月18(水)9:30~13:30、晴れ

場 南足柄市内山 県立21世紀の森  
マダケの展示林

参 取締役佐野様をはじめ

総勢18名(男性14名、女性4名)

イ L村井⑨、小沢⑨

駐車場にて村井リーダーによりオリエンテーション開始、準備運動を行いヘルメット、竹ノコ等の装備を身に付けいざマダケの展示林へ。

秋雨前線の影響で連日の雨模様、しかし本日参加された皆さんの普段の行いを太陽が見ていたのでしょうか!! その結果久しぶりの晴れ日となりました。

参加者を二班に分け入口より右奥に入る班、左を担当する班、インストラクターがマダケ林で作業の進め方、安全上の注意等説明をさせていただきました。

竹林内に入る人、通路で枝打ちや玉切り等の次行程を待ち受けるひと、作業を分担し、皆様手慣れた人も多く、朽ちた竹、暗い竹林の整理と通路の確保、お互いに声を掛け合っていました。

途中の水分補給等を入れ、13時にヒヤリハットも無く全員無事に作業終了。道具の整備をして頂き、次の楽しみを思い浮かべながら21世紀の看板の前で記念写真をパチリ、解散されました。

(記 小沢 章男 ⑨)

#### ◆ BESSフォレストクラブ

##### かながわ水源の森林づくりPR活動

日 H29年10月22日(日)、雨

場 BESS藤沢展示場

参 延べ 約30名

イ L森本⑤、渡辺③、柏倉④、鈴木⑤、若林⑦、  
草野⑧、青木⑩、福島⑪

ログハウスメーカー(株)アールシーコアの社会活動部門であるBESSフォレストクラブからの依頼で、当社の支援寄付金をいただいて「ミニ街頭キャンペーン」<紙芝居、草笛教室(松永昭光先生も招聘)、各種のクラフト>を展開したものです。

当日は、台風21号による風雨が強く、衆議院選挙の投票日であったものの人出は極端に少なく、不本意な結果に終わった。即、次回でのリベンジを依頼。今後、神奈川県森林再生パートナーも視野に入れて、深耕していきたいと思いました。

(記 森本 正信 ⑤)

かながわしずくちゃんホームページは下記URLで見ることができます。

かながわの水源地環境の  
保全・再生をめざして

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f530038/p780119.html>

#### ◆ 横浜市立西富岡小学校

##### 林業体験学習

日 H29年10月26日(木)10:00~13:00、晴れ

場 小田原市久野水源林

参 小学5年生66名 教師6名、計72名

イ L村井⑨、佐藤⑤、小野⑦、小沢⑨、高橋⑨、  
西出⑫、小松⑭

久しぶりの好天に恵まれて、林業体験としてヒノキの間伐と丸太切りを行いました。

はじまりの挨拶のあと、間伐はなぜ重要なのか、また木の切り方や安全な作業はどうするかなどを説明して、木が密集した体験地に入ると「真っ暗だ」との声が上がる。

皆で協力して、選定木の倒す方向を決め、ロープを掛け、のこぎりで切っていく。皆が初めての経験でなかなかうまく切れないが、何とか受け口を作り、追い口を切って決めた方向に木を倒すと歓声が上がった。枝を落として玉切りをして、「できた」、「明るくなった」とうれしそう。

丸太切りでのコースター作りも、思うようにのこぎりが使えないが、どうにか切れると手に取って喜んでる。

作業後はのこぎり、ヘルメット、ロープなどの道具を片付けて、食事をして体験学習は終了しました。時間に余裕がなく追われる部分もありましたが、子供たちに聞くと、初めてのことばかりで面白く、楽しかった、またやってみたくの感想でした。

この体験学習で子供たちが林業、水源林についての理解を深めることができたのではないかと思います。

(記 小松 立史 ⑭)

◆ ダイヤモンドオフィスサービス㈱

間伐作業(新入社員)

- ☐ 平成29年10月27日(金)13:30~16:00、晴れ
- ☐ 相模原市緑区 長竹継承分収林
- ☐ 松崎様、野村様、新入社員 20名(男14名、女6名)  
総数22名
- ☐ 中田様、大西様
- ☐ L 牧石⑭、柏倉④、伊藤⑦、有坂⑧、小沢⑨

当初活動予定日(10/25)が降雨のため延期と成り、本日(10/27)の予備日の活動と成りました。今年の新入社員の方20名が、間伐の体験作業に三菱の大型バスで到着。

長竹分収林の入り口でオリエンテーション開始、県水源環境保全課の中田様より森の話、企業の方々によるボランティア森林保全の取り組みについての活動、牧石リーダーよりインストラクターの紹介、準備運動、全員にヘルメット、鋸、ゴーグル等を身に付け20名を5班に分け選木され

た檜林を目指し、山道のフィトンチッドを感じながら到着。

まずは森林講話、間伐の目的、安全上の諸注意等を説明させて頂き、伐倒方向を決めロープを設定し間伐作業開始、新入社員の動作はさすがフレッシュ、お互いに励まし合いながら作業をされていました。間伐材でコースターを作成し土産品として持ち帰られ、出発点に戻り用具の手入れ、終了の挨拶をし、全員ヒヤリハットも無く再会を約しバスを見送りました。

(記 小沢 章男 ⑨)

森のめぐみの掲載は、今月号はありません。2月号になります。

森のめぐみ シリーズ



かながわ森林インストラクター第15期生37名の閉講式(認定式)が  
11月25日(土)に横浜市中区海岸通万国橋会議センターで行われました。  
15期生のみなさんおめでとうございます！ ともに頑張りましょう！

<写真撮影：事務局長 福島 正治 11期>

神奈川県 環境農政局 緑政部  
水源環境保全課 水源の森林推進グループ  
主事 中田様 からのお祝いの言葉

種々手続きやボランティア保険等の説明



かながわ森林インストラクターの会は  
緑の募金の支援団体としても取組んでいます。  
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林ミニガイド

12月のトピックス

森林文化部会の精鋭が山の神への感謝、1月14日の祭りに備え  
**祠の掃除、注連縄飾り準備万端**



(12/17 撮影 森林文化部会 真貝氏㊟)

やどりきも冬が始まりました。うまくするとカモンカも。ツララ(氷柱)も見られるかも!!

「森の案内人」情報

(12、1、2月は休みとなります)

「森の案内人」情報

案内人がご案内します。案内と事故保険は無料です。

●実施時間:毎週土曜・日曜

AM10時・PM1時、1~2時間程度

●集 合:水源林入口ゲート前

●内 容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

\*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ:(公財)かながわトラスト  
 みどり財団 TEL:045-412-2255  
 FAX:045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>  
<http://ktm.or.jp/contents/event/h27/yadorikil27.html>  
 E-mail: [midori@ktm.or.jp](mailto:midori@ktm.or.jp)

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

「外国人に自慢できる  
 神奈川・フォトコンテスト」

応募期間:2017年11月1日~  
 2018年1月31日

応募方法:

インターネットで応募

(公社)神奈川県環境協会ホームページ

「観光かながわNOW」

観光かながわNOW

検索

紙での郵送応募の方はお問合せ下さい  
 お問合せ

公益社団法人 神奈川県観光協会

TEL.045-681-0007 FAX.045-681-0009

E-Mail:

[kanko-info@kanagawa-kankou.or.jp](mailto:kanko-info@kanagawa-kankou.or.jp)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: [matsutamori@jcom.zaq.ne.jp](mailto:matsutamori@jcom.zaq.ne.jp)

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: [s\\_akasaki-k\\_instructor@live.jp](mailto:s_akasaki-k_instructor@live.jp)

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: [matsutamori@jcom.zaq.ne.jp](mailto:matsutamori@jcom.zaq.ne.jp)

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail:

[kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp](mailto:kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp)

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: [fukky52000@yahoo.co.jp](mailto:fukky52000@yahoo.co.jp)

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。  
 (ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>  
 (HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★去年は沢山の出会いがありました。皆様へありがとうを伝えたいです。また今年もよい一年になるよう祈ります。

(赤崎)

★ラニーニャ現象とかでこの冬は気温が低く、高尾山では「氷の華」のシモバシラが美しく咲いています。

(小川)

★正月を特別に感じなくなったのは、いつからだったのでしょうか。年賀状、紅白歌合戦、初詣、お年玉、10年後まで残っているのは、初詣とお年玉かな?

(黒川)

★平成30年。区切りの良い年です。来年の新年号に向けて、しっかりと足を地につけた一年にしようと思います。

(吉田)

★今年は古希になります。田舎の中学同級生が集まります。瞬発/持続力の衰えた体力のようにならないように脳ミソよ頑張っけて付き合ってください!!

(松本)

寄大橋側の十月桜ですが咲いています。寄大橋側が元気ありません。老木ですか。



(12/5 撮影)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保

事務局: 福島 正治

広報部: 大塚晴子 赤崎さほり

小川和恵 藪田栄哉

黒川敏史 吉田郁夫

支援: 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

日本最大級のロウバイ園

第7回 松田町寄 口ウバイまつり

開催期間:

平成30年1月13日(土)~2月12日(月祝)

9時~16時

会場: 松田町寄ロウバイ園

問合せ:

松田町役場観光経済課 電話番号: 0465-83-1228

ロウバイまつりホームページ

<https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/7roubai/>



謹賀新年

山麓のオアシス

こまち

小田急 新松田駅  
 踏み切り際

緑の募金箱協力店